

平成28年度 2学年修学旅行報告

釜石高校2学年

1 期日 平成28年12月3日(土)～12月7日(水) 4泊5日

2 場所 京都・奈良・大阪

宿泊先：加茂川館(京都市中京区三条通河原町東入中島町104 075-221-4007)

大阪がゼンバース(大阪市淀川区西宮原1-3-35 06-6396-6211)

3 旅程

(1) 【12月3日(土)】

7:00 8:30 9:09 11:56 12:20 14:38 15:00 15:30 16:20 17:00
各方面—釜石—学校—新花巻駅—東京駅—京都駅—金閣寺—京都市内泊



(2) 【12月4日(日)】

8:30 9:50 11:50 12:30 14:30 15:00 16:10 17:30
ホテル(加茂川館)—奈良公園(東大寺等)—法隆寺—薬師寺—京都市内泊



(3) 【12月5日(月)】

8:30 9:00 16:30 17:00
ホテル(加茂川館)—《京都市内班別研修》——京都市内泊



(4) 【12月6日(火)】

8:30 9:00 10:30 12:00 20:00 20:40
ホテル(加茂川館)—清水寺—ユニバーサルスタジオジャパン—大阪市内泊





(5) 【12月7日(水)】 9:00
 ホテル(大阪が'テ'パ'レス) —新大阪駅 == 東京駅==新花巻駅—学校—各方面

(—バス、==新幹線、——徒歩など)

4 引率職員 11名

| | | | |
|-----------|--------|-----------|-------|
| 1組 及川 総司 | 山本 友里恵 | 2組 伊東 浩二 | 阿部 靖恵 |
| 3組 菊池 慶幸 | 山蔭 政徳 | 4組 藤原 奨 | 一方井 亮 |
| 5組 久保田 遙香 | 佐々木 偉彦 | 学年長 高橋 裕幸 | |

5 旅行業者 株式会社JTB東北 奥州支店

修学旅行を終えて～

4泊5日の関西方面への修学旅行が無事に終了しました。

感想を紹介します。

『京都の町を巡って』

高校3年間の中で大きな行事の一つ、修学旅行に行ってきました。最初に見学したのは「金閣寺」です。私は金閣寺を初めて見たときは、平泉の「金色堂」よりも光り輝いているものがあり、たいへん感動しました。夕日でさらに光が反射し直視することも出来ないくらいの素晴らしさ、美しさでした。また、水面に映る金閣寺もきれいでした。その後、歴史的建造物を見学しましたが、どれも、京都を感じる事ができ貴重な思い出、経験でした。

『京都自主研修を通して』

修学旅行の3日目、この日は各班それぞれでの自主研修でした。計画していた時間より早く移動することが出来たので、二条城をゆっくり観て回ることが出来ました。実際に大政奉還が行われた部屋や驚張りの床をみたときは歴史を感じました。その後、電車で嵐山へ行く予定でしたが間違えて特急に乗ってしまい、通過してしまうというトラブルがありましたが、落ち着いて行動し嵐山に行くことが出来ました。竹林や渡月橋など風情のある景色を見て京都の美しさを堪能することができました。京都での自主研修を通して自分たちで計画を立てて行動すること、時間を管理する能力が上がりました。また、様々な歴史的建造物を実際にみることで歴史の見方が変わりました。トラブルもありましたが、楽しく、思い出に残る修学旅行でした。

『京都自主研修の思い出』

4泊5日の修学旅行、私の中での1番のメインは京都自主研修でした。私の班では、着物を着て、神社巡りをしたりしました。普段なかなか経験できない、京都の文化や歴史を存分に味わうことができ、日本人らしさや風流な心を取り戻したような気分になりました。他の班も歴史的建造物を見に行ったようですが、教科書やテレビでしか見たことのないものに実際に触れることで、本物の美しさや素晴らし

さを改めて体感することができたと思います。

今回の奈良・京都・大阪をまわる修学旅行をとおして、岩手にいるとわからない文化・暮らし方・方言の違いなど学ぶことが出来ました。この経験を今後の生活にも生かしていきたいと思います。

『修学旅行で学んだこと』

修学旅行をとおして、学んだことは2つあります。1つ目は、時間に余裕を持った行動をとること。修学旅行は単なる旅行ではなく常に集団行動です。その中で自分たちが行動できる時間はとても限られていました。集合時間に間に合わないと周りのみんなに迷惑がかかるし、全体として次の行動が遅れてしまうので、日々の生活にも少し時間に余裕を持って行動したいです。また、実際私は、夜間外出へ行って帰ってくるときにお風呂の時間がぎりぎりだからと言って走って戻ったら生徒控えの紙を紛失してしまうという大失態を犯してしまいました。以後、このようなことがないように気を付けます。2つ目は、関西のノリにあわせるのはたいへんなことだということです。関西のバスガイドさんは、東北のバスガイドさんと違って、とてもおしゃべり好きで、周りによく絡んできます。話の内容はすごく面白くて飽きないのですが、関西弁で話されて、どう思う?と聞かれたときに、自分の意見をバシッと言えるようじゃなきゃ関西ではやっていけないと思いました。良くも悪くも、修学旅行は楽しい思い出となりました。



USJでは、みんなの笑顔が輝いていました。